

● 第2次 糸魚川市環境基本計画に対する意見一覧

・意見なし

● 第2次 糸魚川市新エネルギービジョン素案に対する意見一覧

| 区分 | ご意見欄 |
|--------|--|
| 学識経験者 | <p>【全体を通して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行エネルギービジョン推進についての評価 最近の社会情勢の急激な変化で、エネルギービジョンの見直しが重要なことは意義がありません。むしろ、今後の社会変化に取り残されないためにもエネルギービジョン推進は糸魚川市の命運を握っているとも考えられます。 第2次ビジョンを確実に推進するためには、現行ビジョン推進の評価が大切だと考えます。「何が出来て、何が出来なかった」ではなく、「なぜ出来たか？なぜ出来なかったか？」「どうすれば可能性があったか」が次の推進につながると考えます。 ・庁内委員会 現行のエネルギービジョンには、進行管理における役割分担の中に「庁内委員会」が位置づけられていましたが、第2次ビジョンからは省かれています。しかし、庁内委員会を機能させることが推進のカギを握るのではないのでしょうか。 <p>【第5章 新エネルギー導入の可能性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表5-2新エネルギー(電力利用)の導入可能性 陸上風力発電の評価観点b)「技術・製品の実用化の程度」について 風力発電は世界の再生可能エネルギーの50%近くを発電している、かなり成熟している技術です。従ってこの項目の評価は「3」が相当だと思います。問題は糸魚川市における設置場所だと考えます。風力発電を設置したマリンドリーム能生に比べて徳合の故障が多かったのは、海岸近くのがけの上に設置したことで、複雑な気流や海面との電位差による落雷の多発などがあったと思われます。また、現在の社会情勢は、大規模風力発電の推進に向かっていると考えます。その点で、市内に大規模な風力発電設備に適した場所を見つけるのは困難かもしれません。評価の観点d)「導入に係わるその他の障害」は現時点市内に適地を見つけにくい点では0または1だと思います。 ・アンモニア発電の可能性 最近アンモニアを燃焼させて発電することが注目されていますが、市内の化学プラントと連携して出来ないか検討してみてもどうでしょうか。 <p>・本ビジョンの実施期間が2021年度～2030年度の10年間として策定され、第1章で策定経緯や目的が明確に示されており、解りやすく良いものを策定いただいたことに感謝いたします。 ・なお、以下の記載内容につきましては是非市民に広くPRしていただけると、市民が自覚と自信をもって今後の活動に協力等が得られ易くなると考えます。</p> <p>○P12 「3.2 導入実績と評価」 環境エネルギー政策研究所公表の「持続地帯2019年度版報告書」によると、再生可能エネルギーの自給率並びに供給密度は、県内市町村の中でともに1位、自給率においては100%を超えている。この部分と表3-2 令和元(2019)年度の導入実績と導入目標への達成状況 ○P14 「4.2 調査結果」 表4-3 糸魚川市内の賦存量・利用可能量の推計結果と市内に既に導入されている新エネルギーの量は44TJであり、利用可能量の0.5%となることから、市内には活用されていないエネルギーが豊富にあること。以上の2点です。</p> <p>・糸魚川市内の新エネルギー賦存量と利用可能量の多さに改めて感激しました。これは市民にとって自慢のお宝です。CO₂排出量削減目標達成に向けて、10年後が楽しみです。</p> <p>・いろいろな発電があることを知ることは、市民にとっても大切なことであり、その機会を充実していくことが大切である。 ・実際の発電は事業者が行っているが、その方法が環境や地域経済と大きな関係があることを市民に知らせる機会となり地域活性化につながる。 ・糸魚川でどんな発電が有効可能か、みんなで見付け出していく(もちろん安全に充分配慮する)のも楽しいかもしれない。</p> |
| 関係行政機関 | <p>・P19 第6章 新エネルギー導入促進の取組 プロジェクト① 地域住民主体による中小水力発電導入と地域活性化策への活用について</p> <p>現在、糸魚川市では「よもぎ」や「ぜんまい」を通常電力等により乾燥・加工している。当プロジェクトが実現できればコスト低減や商品の付加価値向上に繋がることから、積極的な取組を期待する。</p> |
| 市民 | <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化と環境問題は、ますます主用な時代になってくると思います。 ・中小水力発電導入は多いに促進してもらいたい。 ・プロジェクトには地域住民及び糸魚川市の市民全体の賛同していただける方に投資していただく方法。 ・投資は少額で1口1,000円から5口5,000円まで。 ・収益は分配しないで糸魚川市の地域作りや環境問題の促進にあてる。 <p>・豪雪地帯で山岳地を抱える糸魚川市にとって、安定供給できる水資源がエネルギーに変換できることが一番いいように思う。</p> <p>・電力会社を買電より市内で電力の自給ができる施策を検討できないか？(または流域での自給)例えば、風力や水力発電の自給によって市の戸当たりの電気代がどれだけの割合になるか。または、雪や雨、晴天の時によって発電状況や自給率が市民に配信できる学校や公共施設でリアルタイムで見れるように、またどこでもスマホやパソコンで確認できるなど、自然エネルギーが身近に感じられるようなシステム作りの施策が必要。「市民に見えるようなかたちで自然を生かした地域づくり」</p> <p>※今年のように大雪だと夏までに雪代になり、大きな自然のダム効果になり資源に変換されて電力の自給率がアップする。それを市民に還元することによって冬のマイナスイメージがプラスになる。</p> |